

黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）についての意見募集結果について

市が実施しました黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたっての意見募集に対し、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。
いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間
平成 27 年 11 月 25 日から平成 27 年 12 月 8 日まで

2 募集方法
市のホームページ（<http://www.city.kuroishi.aomori.jp/>）と広報くろいしに案の概要等を掲載したほか、企画課及び各地区公民館・地区センターに資料を用意しました。
意見提出は、所定の記入用紙または任意様式に、氏名（法人等の場合は名称及び代表者氏名）、住所、在住・在学の別、件名（任意様式のみ）の明記を条件とし、提出方法は、郵送、企画課への直接持参、ファックス及びEメールのいずれかの方法によることとしました。

3 提出された意見
1 人の方から述べ 9 件の意見をいただきました、その反映状況は次のとおりです。

文書修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
件	件	6 件	件	3 件	9 件

「文書修正等」 … 本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。
「記述済み」 … 既に記述済みのもの。
「実施段階検討」 … 計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。
「反映困難」 … 反映が困難なもの。
「その他」 … 質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

（提出された意見の内容とそれに対する市の考え方）

No.	意見の概要	市の考え方
1	市長等による県内外でのトップセールスの実施（11ページ）について、私も一緒に連れて行ってほしい。もう場所は決まっているのか。（東京都目黒区ならいいところを知っている。）	実施場所については、青森県や農協など関係機関と調整のうえ決定しております。また、商品によって関係者からトップセールスに同行する人を決定しておりますが、事業の実施時期等に応じて検討して参ります。
2	トップセールスに、12ページの山村女性リーダーも一緒に連れていく。	トップセールスの実施時期や実施場所、さらに農山村女性リーダーの都合も確認のうえ可能性を検討いたします。

No.	意見の概要	市の考え方
3	20ページの温泉への誘客、ウォーキングコース等をトップセールスする。	<p>温泉への誘客に対しては、全国の旅行エージェントを参集したキャンペーンや県内外のイベントにおいて、市長はりんご・祭りと同様に温泉郷も黒石市の魅力として紹介しておりますが、今後はこれまで以上に機会を広げトップセールスを推進して参りたいと考えます。</p> <p>また、ふるさと自然のみち（ウォーキングコース）については、新年度からの指定管理者も決まり、ふるさと自然のみちを見直したいと考えています。新たなコースが決まり次第、県内はもとより県外に向けたトップセールスも含めたPR方法を検証し、情報発信していきたいと考えます。</p>
4	空港が近いので、空港利用のお客様、外国人の方へ観光案内。黒石だけでなく、平川市・藤崎町・田舎館村等と一緒に観光案内を作ってみてはどうか。	<p>外国人向け観光案内をはじめインバウンド対応については、県が主体となって自治体や観光関係団体が協力し、本件への海外チャーター便やクルーズ船へのお出迎えや案内対応を実施しております。観光分野の連携については、単独での売込みより費用対効果は大きい部分もあるため、近隣市町村の他、JR等民間団体で組織する協議会や域内観光協会等で組織する津軽地域観光団体事務局連絡協議会議などで、域内の情報交換や観光情報の共有、連携を図っており、より一層誘客拡大に向けて取り組んで参ります。</p>
5	Iターン、Uターン促進のための相談窓口・ホームページへの情報コーナー開設（22ページ）について、IターンよりUターンの方にこれからは、今の学生（中・高・大学生）の人と一緒に街づくりに参加してもらい、黒石の良い所、都会でのつながりをもって、もし黒石に帰ってきたら、すぐ活動できるように受け入れるような体制を作り、帰ってきて街づくりに参加できるように若いうちから社会と関われるようにしたい。	<p>現在、児童に対して黒石を知ってもらうための景観学習を開催しているほか、まちづくり団体や市民、大学生等による伝統的建造物群保存地区の「松の湯交流館」をどのように活用していくか、ワークショップ等を通じて議論しているところでもあります。</p> <p>また、「まちなか」を活性化し、「まち育て」していくために、NPO法人の設立や運営団体の活動支援など、受け入れ態勢の整備を進めているほか、市民がまちづくりに参加できるような環境づくりを進めていきます。</p> <p>36ページの地域力（黒石力）向上事業により、「特色ある地域活動」を継続するために、地域のリーダーとなる人材の養成、発掘するための講座を開催します。</p>
6	黒石だけではなかなか難しいので、平川市、藤崎町、田舎館村と一緒に盛り上げてみてはどうか。JR東日本でトランスイート四季島という、汽車が弘前を通る予定なので、一緒に考えてみてはどうか。	<p>「トランスイート四季島」については、近隣市町村の他、JR等民間団体で組織する協議会でも、先般の会議で話題に上がっており、今後、運用開始が現実味を帯びてくる2017年春に向け、広域連携の立場も含め、ご提言の趣旨も踏まえながら、その対応を検討して参ります。</p>

今回の意見募集では、その他下記のようなご意見をいただきました。今後の市政運営の参考とさせていただきます。

No.	意見の概要
7	今後の方向性（16ページ） 「松の湯交流館」について、受付にもっと工夫があってもよいのではないか。その場に座っているだけでなく、外に出て観光客らしき人に積極的に話しかけ、こみせを案内したりして欲しい。ハードが出来たのにソフトがとてもサービス業とは思えないし、本人は思っていないと思う。
8	新しい公共について（35ページ） 本当に行政の人は、共助の精神で活動してくれるのか。黒石のねふた、よされと大事なイベントあり、先日りんごまつりがありその時、なぜ、市のまちづくりの講習会（ワークショップ）をやるのか。市民が一体になってやらないのか。「黒石力」が空回りである。絵にかいたもちである。
9	地区別人口の推移（6ページ） なぜ追子野木地区は人口が増えたのか。

担当	企画財政部企画課
電子メール	kikaku@city.kuroishi.aomori.jp
電話	0172-52-2111(内線239)
F A X	0172-52-6191